

平成26年度事務事業評価シート

◎基本情報

事務事業名	救急救命士養成事業		担当部署	消防本部	予防課(室)
総合計画体系			根拠法令 計画など	救急救命士法	
基本政策(大項目)	3	しっかり安心・快適住み良いまちづくり	事業 期間	開始	平成 ▼ 5 年度
政策(中項目)	1	安心して暮らせるまち なるど			
(小項目)		救急		終期	未定 ▼
施策	3	救急救助・医療体制の充実			
基本事業	1	救急体制の充実			

◎事業概要(PLAN)

事業対象	誰(何)を対象にしているか	<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 消防職員のうち、250時間の救急課程修了者で5年以上の実務経験を有する者。						
事業目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	救急出場時の救命士乗車率を100%にする。消防吏員がより高度な救命処置を取得することにより、救命効果の一層の向上を図る。						
成果目標	事業目標の達成度合	指標名	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	単位
		救急救命士の乗車率	100	100	100	100	100	%

◎実施結果(DO)

事業実施内容	25年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行っているのか	救急救命士資格の取得のため九州研修所へ職員を派遣。救急救命士が行える特定行為を確実に実施するため病院へ研修、派遣を行った。						
事業実施手法	<input type="checkbox"/> 市実施 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他							
指標名		24年度実績	25年度実績	26年度目標	27年度目標	28年度目標	単位	
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	救急救命士(実働数)	14	14	16	17	18	名
	2							
成果指標 対象にどのような効果があつたか示す指標	救急救命士の乗車率		97.6	98.9	—	—	—	%
	目標達成率(実績/目標)			98.9	—	—	—	%

コスト分析		24年度実績	25年度実績	26年度	27年度	28年度	単位	
事業費	(財源内訳の合計)		2,893	2,899	3,042	3,042	3,042	千円
	財源内訳	国	0	0	0	0	0	
		県	0	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	0	
		一般財源	2,893	2,899	3,042	3,042	3,042	
事業にかかる人件費 (人件費内訳の合計)		6,517	652	652	652	652	人	
人件費内訳	正規職員(6,517千円/人)	1.0	0.1	0.1	0.1	0.1		
	臨時職員等(2,012千円/人)							
総事業費 (事業費と事業にかかる人件費の合計)		9,410	3,551	3,694	3,694	3,694	千円	

【事務事業名:救急救命士養成事業】

◎平成26年の実施状況(DO)

現在の実施状況	救急救命士の乗車率が100%となる18名を確保するため九州研修所に派遣及び救命士資格取得者の職員採用を引き続き行う。また、気管挿管病院実習1名派遣に加えて、気管挿管を容易にするビデオ硬性挿管用喉頭鏡を、使用するための病院実習に職員2名を派遣する。
---------	---

◎項目別評価(CHECK)

事務事業の評価	1.必要性の評価			理由等所見欄
	8	<input checked="" type="checkbox"/>	① 廃止した場合に支障が出る。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	② 施策「救急救助・医療体制の充実」の達成につながる事業である。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	③ 税金で実施するにふさわしい事業で、市民への説明責任も果たせる。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	④ 市民の基本的な生活の維持・確保に必要不可欠な事業である。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	④ 行政内部の管理上必要不可欠な事業である。	
	/10	<input type="checkbox"/>	⑤ 法令により実施することが義務づけられている事業である。	
	2.有効性の評価			理由等所見欄
	8	<input checked="" type="checkbox"/>	① 市民生活上の課題解決に貢献している。	救急救命士の乗車率が100%となる18名を確保するため救急救命士九州研修所に派遣及び救命士資格取得者の職員採用を働きかける。
		<input checked="" type="checkbox"/>	① 行政内部の管理上の課題解決に貢献している。	
<input checked="" type="checkbox"/>		② 事業目標が達成できるような事業内容になっている。		
<input checked="" type="checkbox"/>		③ 事業対象は適切である。		
<input checked="" type="checkbox"/>		④ 成果目標が達成され、市民に具体的に説明できるような効果があがっている。		
/10	<input type="checkbox"/>	⑤ 現在の事業費で、事業の見直しによる成果向上の余地はない。		
3.効率性の評価			理由等所見欄	
10	<input checked="" type="checkbox"/>	① 事業実施手法は適切である。		
	<input checked="" type="checkbox"/>	② 事業費を削減する余地はない。		
	<input checked="" type="checkbox"/>	③ 作業手順の改善などによる人件費削減の余地はない。		
	<input checked="" type="checkbox"/>	④ 受益者負担や補助金の割合に問題はない。		
	/10	<input checked="" type="checkbox"/>		⑤ 効率性向上の余地はない。

◎今後の方向性(ACTION)

課題					
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3
↓「廃止」・「要改善」・「拡充」の場合は以下の欄に記入してください。					
今後の改革案	実施予定時期	<input type="text"/> <input type="text"/>			
	どのように改革するのか				